

第 55 回総会開催報告（概要）



開会挨拶を述べる熊倉会長



総会会場風景



審議風景



閉会の辞を述べる稲野邊副会長

会員のご協力を得て、令和元年 6 月 19 日、八芳園（東京都港区）において、第 55 回総会が開催されましたので、その概要を報告申し上げます。

冒頭、昨年の総会以降亡くなられた会員のご冥福をお祈りするため、黙祷が捧げられた後、会員表彰に引き続いて、熊倉隆治会長の開会の挨拶が行われた後、議長として、増村代議員、副議長として渡邊代議員が指名され、増村議長からの定足数の確認と議事録署名人の指名、審議時間と議題の宣告を経て、議事に入りました。

まず、平成 30 年度事業報告承認の件（総会議案第 1 号）、これに伴う平成 30 年度決算承認の件（第 2 号）について審議が行われ、質疑応答を経て、両原案とも可決承認されました。

次に、理事の選任に関する件（第 3 号）、監事の選任に関する件（第 4 号）、除名に関する件（第 5 号）について審議が行われ、すべての原案が可決承認されました。

このほか、報告事項として、令和元年度事業計画、同予算に関する件、令和元年度代議員の選任に関する件等の報告が行われました。また、代議員や会員から寄せられた議案に直接関係しないご質問、ご意見に対しては、会長をはじめとする役員や担当委員長が回答を行いました。

以上により、第 55 回総会は、その目的となる事項がすべて終了し、稲野邊副会長の挨拶をもって、閉会いたしました。



理事会審議

総会終了後、八芳園本館 1 階「ニューイ」にて理事会が開催され、新会長に吉村真行氏が選出されたほか、副会長、専務理事、常務理事、委員会委員長及び委員、顧問、相談役についても新たに選任されました。

また、16 時から、石井啓一国土交通大臣ご来場の下、八芳園本館 3 階「チャット」において、地価公示制度 50 周年記念セレモニーが開催され、総会来場者を中心に 200 名以上の会員が参加されました。



懇親会で挨拶する吉村 新会長

午後 5 時からは、総会と同じ会場にて、国会議員、国土交通省、総務省をはじめ、友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、懇親会を開催いたしました。懇親会では、大塚高司国土交通副大臣からご祝辞をいただき、日本不動産鑑定士政治連盟の内田信行会長代行の乾杯ご発声により盛大に行われました。

吉村新会長は、懇親会の挨拶の中で、「不動産鑑定業界を取り巻く環境は、社会・経済環境の激変と共に大きく変わり、私たち不動産鑑定士は令和という新時代を迎えた今こそ専門家として求められる役割、使命をしっかりと果たしていかなければならない。会長就任にあたり、業務拡充・人材育成・地位向上という 3 つの所信を表明した。①不動産鑑定士という資格制度の持続的発展を目指し、時代の要請・社会のニーズをとらえて国民の役に立てるような業務拡充。②次世代を担う人材を発掘し、高い実務能力と広い知見を備えたプロフェッショナルの養成を行う人材育成。③有事における災害対策支援活動をはじめとした社会的使命を果たしていくこと等により、信頼性の高いプロの仕事を提供することによる不動産鑑定士の認知度や地位向上。この 3 つの所信のもと、具体的な形とすること、新たな道を開くことを心がけひとつひとつ着実に取り組んでいきたい。」「私たち不動産鑑定士は鑑定評価の強みを生かして、不動産の価値判断ができる専門家・実務家として、そして有事のときこそ役に立つ専門家として、国民の皆様のお役に立てるように全力で取り組んでいきたい。」と述べました。



大塚国土交通副大臣による来賓挨拶



乾杯のご発声を行う内田鑑政連会長代行



川柳コンテスト表彰式



PR 動画コンテスト表彰式



また、ご出席の国会議員からご挨拶をいただいたほか、本日の理事会で選定された副会長、業務執行理事のお披露目が行われ、なごやかな歓談のうち、盛会裡に懇親会を終えることができました。



国会議員紹介



新役員（業務執行理事）披露

